

宅配支部ニュース

発行：ユーコープ労働組合
2016年12月15日発行
電話 045-319-4891
FAX 045-319-4893
<http://ucoopunion.jp/>

【2016年度 第5回宅配労使協議会報告】

昼休憩取得 30 分以下一掃できず

2016年度第5回宅配労使協議会が、12月12日（土）しずおか県本部会議室にて開催されました。理事会からは、橋田運営部長・栗城エリア部長・山下運営企画課長・耳塚労政課長、労働組合からは正規職員12名、パート職員10名、計22名が参加しました。

1. 11月度経営結果

	実績	予算比・差	前年比・差
11月度 商品供給高	91.36 億円	101.17%	93.16%
11月度 経常剰余高	3.11 億円	2.47 億円	▲23.95 億円
累計 商品供給高	737.01 億円	100.43%	100.90%
累計 経常剰余高	23.93 億円	2.79 億円	▲2.07 億円

<理事会>

11月度は、商品供給高、経常剰余とも達成。利用・単価・荒利・拡大も達成し、12月度も順調に推移している。10/29(土)にしずおかエリアで開催した「ジュピロ磐田おうちCO-OPマッチ」に組合員を抽選で200名ご招待し、好評だったのでこれからも続けていきたい。展開を始めた「おうちCO-OPアプリ」は、利用者4万人を目指している。サービスセンターの応答率は、採用が進んでおり、直近11月3週では81.77%（前年比+19.7%）の応答率を確保できた。

2. 9月度安全運転報告

エリア	11月度事故件数	累計事故件数	予算比（累計）	前年比（累計）
かながわ	2	27	3	▲2
しずおか	2	12	▲9	▲3
やまなし	0	2	▲2	0
合計	4	41	▲8	▲5

<理事会>

事故発生件数は4件で目標は達成しているが、重点課題の人身事故が1件、バック事故が2件発生した。また、27kmの速度超過で検挙された交通違反が発生した。11/4(金)～5(土)に全国生協安全運転大会に4名が参加した。今後は大会前の準備がしっかりできるようにしたい。

<労組>

以前から比べると、事故後の職場会もつるし上げのようになっていないので評価できる。そういう進め方を、全センターに共有する必要があるのではないか。

<理事会>

事故後の職場会は、発生させた担当者個人を責めるのではなく、要因がどこにあるのか分析するように教育を進めている。まだ工夫の余地があるので、良い方法があれば変えていきたい。

3. 9 月度までの有休取得状況

有休取得率	かながわ	しずおか	やまなし	ご案内ルーム	全エリア
正規	37.4%	42.0%	42.0%	43.2%	39.8%
パート	39.0%	43.5%	33.5%		40.5%

※正規職員は4～11 月度累計、パート職員 2016 年度7～11 月度累計。
 ※事業所別の詳細データは、ユーコープ労働組合のホームページをご覧ください。

<労組>

取得率が、目標に対し5%程度遅れている。要因はつかんでいるのか。また、ここ数年の有給休暇の取得目標は、2008 年度をベースにしているが、来年度以降、目標を引き上げていく考えはないのか。秋闘分会でも同様の意見が出ている。

<理事会>

遅れの要因は主に、「11/24(木)の降雪によるイレギュラー」「2016 年度上期中途採用者の有給休暇付与による人員構成の変化」で、誤差が発生している。来年度以降の目標についても、本年度同様 2008 年度の到達点を維持したいという考えだ。

<労組>

一部のセンターで供給職員による統一行動が予定されているが、有給取得率が遅れているセンターでは行わないことになっているのでは。

<理事会>

基本的には営業ラインで完結。該当するセンターの有給休暇取得率は注視していく。

4. 供給ライン昼休憩 30 分以下削減・定時退出帰着

	かながわ	しずおか	やまなし	全エリア	前回増減
正規	12	33	0	45	▲1
パート	20	11	1	32	▲6

※114 企画（11/21～25）の実績です。

<理事会>

前回の092 企画との比較において、正規職員コースで10 センター、パート職員コース10 センターで30 分以下の昼休憩を一掃した。改善傾向は図れている。要因は、「11/24(木)の降雪によるイレギュラー発生（27 コース）」、「配送ポイント増加・組合員との約束など、コース編成に起因（21 コース）」、「休憩取得の意義」、「研修中職員による配送遅延」。今後については、「コースシミュレーション機能によるコースの調整」「コースの一発便化」「委託配送会社との配送地域の調整」「024・034 企画のコースリフレッシュ」「午前の配送遅延発生時の午後の配送開始時間の後ろ倒し」「休憩時間取得の意義を教育」し、休憩取得、定時退出が可能なコースづくりをおこなっていく。

<労組>

期限であった 2016 年度 9 月度末には達成されず、今に至る。30 分以下の昼休憩取得の撲滅は、説明にある 034 企画のコースリフレッシュには達成されるのか。担当者の中には休憩を取得する意義を理解していない人もいるのは労組も承知しているので、マネージャーだけではなく職場会でも議題として学習してほしい。また、定時退出可能なコースづくりについては、労使協定で 2016 年度内が期限となっているが達成できるのか。

<理事会>

30 分以下の休憩取得は無くしたいと考えているが、イレギュラーが発生する可能性があり、完全にゼロにすることは不可能。現在では運行計画上、規定以下の休憩設定はできないようにしてい

るので、コース組み上は取得する形になっている。休憩取得の意義については業務ラインでも進めるが、労組もぜひ発信してほしい。ポイントの増減などでコース編成が崩れていってしまう。定時退出可能なコースづくりについては、特にしずおかエリアで対象が多い。今年度末で到達点を作るのは難しい。内部でも協議するが、労組とも協議したい。

<労組>

コースリフレッシュは、日々の拡大や委託配送会社との調整不調などにより順調に進んでいない。人員不足からリーダーの恒常的な代走も発生している。中途入職職員の遅れを差し引いても取得できていない。ポイントに対して配送担当者がたりていないように感じるが、増員の基準はあるのか教えてほしい。

<理事会>

委託配送会社との関係の問題は認識している。休憩取得不足が解消されないことは重く受け止めている。増員については考えている。また、基準については、センター側から事情を聞きながら進める。生産性を著しく落とさなければ認める方向だ。

5. その他

(1) トラックのネームマグネットがフルネームではなく、名字だけにしてほしい。

<理事会>

それぞれ事情がある場合は、センター長に相談し対応してもらってほしい。個別に対応する。全体としてそのようにすることは考えていない。

(2) ドライアイスが50カットだと使えない部分が多いので、最低でも40カットにしてほしい。

<理事会>

やまなしエリアだけは手でカットしているのでそのような事象が発生しているようだ。ドライアイスを40カットにすると2000万円経費増なので、50カットの変更はできない。まずは業務ラインで報告し、業者にお願いすることが先だと思っている。

(3) 物流イレギュラー報告について、第3回でやりとりをしたが、その後どうなったのか。

<理事会>

9月のマネージャー会議で周知した。物流イレギュラー報告は、マネージャーを通じて運営部へ報告してほしい。

(4) バック時の三角板の使用について、その後運用はどのようになったのか。

<理事会>

しずおかエリアでバック事故が多発した時に導入したもので、バック事故は削減が進み効果が出ている。

(5) 前回労組が提案した、営業車のコインパーキングのネット予約について、活用はできそうか。

<理事会>

調べた結果、クレジットカードでないと利用できないようだ。自宅の駐車場などを活用しているような形態らしいので運用が難しい。引き続き研究し、取り入れられるものは取り入れていきたい。

(6) 配送作業表の仕様変更で消えた、赤ちゃんサポート・ほほえみサポート表記は戻せないか。

<理事会>

作業表の使用は別積み品の文字数を増やすため、他の欄を削減する必要があった。今後、業務スマホに表示できないか検討するが、どちらにしてもすぐは難しい。

(7) PC 新地図システム導入について

<理事会>

労組実施のアンケートも含め、現在把握している現場からの声と対応は以下の4点だ。

①使用時間が集中する。

→オペレーション変更で対応しやりくりできているセンターの事例を集め広げていく。

②使用PCが固定化されたこと。

→以前は規定以上のライセンスを使用するセンターがあったため、パンクしていた。ライセンスが全センターでトータル100なので固定する必要があった。表札表示地図については、経費が関係する。この台数で理解してほしい。

③表札表示地図PCが削減されたセンターによるPC不足。

→配送担当者のスマホで配順情報が閲覧可能になるよう準備している。2017年4月を目途に開発を進めている。また、レンタルモップ回収のスマホ入力については速やかに発信する。

④PCログインログアウトによる非効率。

→セキュリティとリスクマネジメントの問題上今の運用とした。面倒なのは十分理解しているが、理解していただきたい。

*PC新地図システム導入前の労使協議会で説明に不足部分があったことについても今回やりとりをおこないました。

(8) 共済運営上の不備について

<労組>

共済の電話掛けをしているときに、以前お断りされた組合員にもう一度電話してしまうなど、組合員にもご迷惑をおかけするし、こちらも気をつかう。データベース化して管理できないのか。

<理事会>

データベース化などを導入しようとなると、コストが必要となる。また、やり方などいろいろ検討しなければ導入とはならないので、現状ですぐデータベース化はできない。電話掛けなどで、電話禁止などの事例が発生した場合、登録することができるのでラインを通じて相談してほしい。

【次回、宅配労使協議会日程】

日時：2月25日(土)

13:00～14:45 定例宅配労使協議会

会場：横浜日石ビル

宅配労使協議会ニュースは労働組合の
ホームページでもご覧いただけます

<http://ucoopunion.jp/>

